



2026年8月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月9日
上場取引所 東

上場会社名 バリュエンスホールディングス株式会社
コード番号 9270 URL <https://www.valuence.inc/>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 寄本 晋輔
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 佐藤 慎一郎 (TEL) 03-4580-9983
定時株主総会開催予定日 2026年11月25日 配当支払開始予定日 2026年11月9日
有価証券報告書提出予定日 2026年11月24日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年8月期の連結業績（2025年9月1日～2026年8月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期	106,656	25.7	5,780	297.6	5,399	310.4	3,073	350.7
2025年8月期	84,841	4.1	1,453	—	1,315	—	681	—

(注) 包括利益 2026年8月期 3,141百万円 (365.1%) 2025年8月期 675百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年8月期	233.15	231.87	34.9	15.9	5.4
2025年8月期	52.00	51.81	9.8	4.6	1.7

(参考) 持分法投資損益 2026年8月期 △78百万円 2025年8月期 22百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年8月期	36,808	10,544	27.9	778.62
2025年8月期	30,938	7,676	23.8	559.82

(参考) 自己資本 2026年8月期 10,263百万円 2025年8月期 7,361百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年8月期	2,467	△1,601	1,009	7,227
2025年8月期	△555	△2,963	1,913	5,303

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金 総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年8月期	—	0.00	—	10.00	10.00	131	19.2	1.9
2026年8月期	—	0.00	—	45.00	45.00	593	19.3	6.7
2027年8月期(予想)	—	0.00	—	55.00	55.00		18.1	

(注) 2026年8月期の期末配当は予定であり、2026年10月23日に開催する取締役会において決定いたします。

3. 2027年8月期の連結業績予想（2026年9月1日～2027年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,000	7.8	6,750	16.8	6,190	14.6	4,000	30.2	303.44

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年8月期	13,934,450株	2025年8月期	13,744,460株
2026年8月期	752,510株	2025年8月期	594,880株
2026年8月期	13,181,495株	2025年8月期	13,112,342株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項などについては、添付資料6ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	5
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	5
(4) 今後の見通し	6
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
連結損益計算書	9
連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更に関する注記)	13
(表示方法の変更)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループが事業展開するリユース業界は、今後も継続的な成長が見込まれており、2025年のリユース市場規模は前年比6.2%増の3兆4,636億円となりました。また、2030年にはその市場規模は4兆円に到達すると見込まれております。（出所：株式会社リフォーム産業新聞社「リユース業界の市場規模推計2026（2025年版）」（2026年9月））

当社グループは、循環型社会における主要な取組の一つである「リユース」を事業の中核とする企業として、「Circular Design for the Earth and Us」をパーパスに掲げ、事業活動を通じた持続可能な社会への貢献を目指しております。さらに、顧客やパートナーへの様々な選択肢提供により、当社グループが保有するモノのみならず顧客やパートナーが保有するモノの循環を促進することで新たな収益機会を創出すべく、2030年に「Circular Design Company」の実現を目指しております。

2027年8月期を最終年度とする3か年の中期経営計画「To the Next Stage: For 2030 Revival Vision」においては、収益性向上のため構造改革を進めるとともに、重点領域と定める小売拡大や海外仕入拡大に資する投資に厳選して対応することを基本方針とし事業拡大に努めております。

上記計画に基づいた事業活動の結果、当社グループの当連結会計年度の連結業績は以下のとおりとなりました。

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)	前期比	
			増減額	増減率
売上高	84,841	106,656	21,815	25.7%
営業利益	1,453	5,780	4,326	297.6%
経常利益	1,315	5,399	4,083	310.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	681	3,073	2,391	350.7%

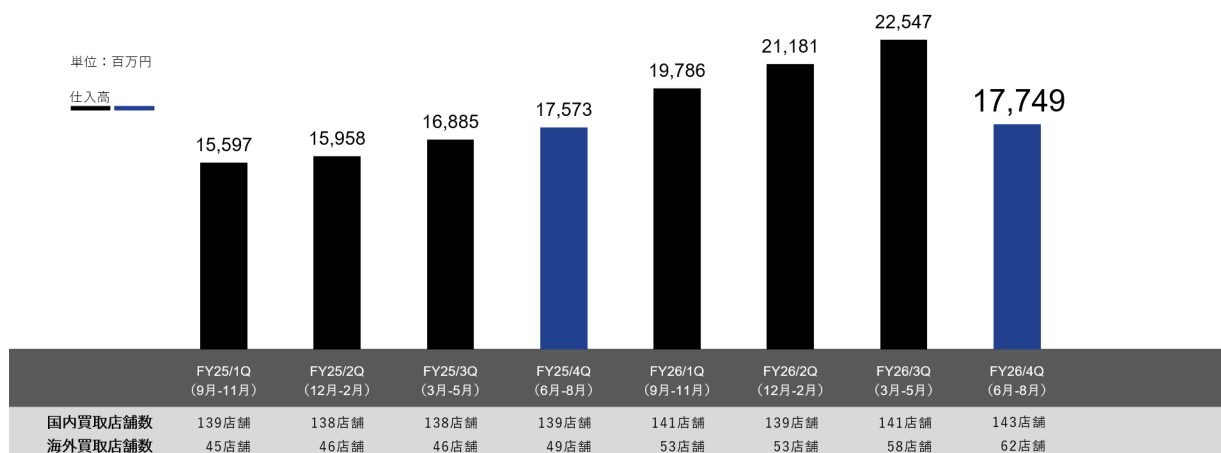
買取面においては、売上総利益率重視の買取に加え、効率性を重視した店舗運営を継続いたしました。地金相場の上昇といった外部環境が一定程度寄与したものの、国内においてはなんぼやにおける仕入が好調に推移し、1店舗当たりの仕入高が増加したことに加え、アライアンスによる買取増加も仕入高の伸長に貢献いたしました。また、海外においても注力エリアである東南アジアを中心に仕入が拡大いたしました。これらの結果、当連結会計年度における仕入高は81,263百万円（前期比15,248百万円増、同23.1%増）となりました。

店舗出店については、1店舗当たりの効率性を重視しつつ出店エリアを厳選した新規出店を継続いたしました。国内外共に出店基準に満たない店舗の退店を完了し、国内においては新規出店を再加速させたことで9店舗、海外においても好調な東南アジアを中心に直営店舗5店舗、パートナー店舗13店舗の新規出店を行いました。この結果、当連結会計年度におけるグループ全体の買取店舗数は、国内143店舗（協業店舗数は除く）、海外62店舗の合計205店舗となりました。

当第4四半期連結会計期間においては、売上総利益率重視の仕入を継続するとともに、1店舗当たりの効率性を重視した店舗運営を行いました。また、買取店舗については国内2店舗、海外は直営店舗1店舗、パートナー店舗3店舗を新規出店いたしました。時計・バッグを中心としたブランド仕入は好調に推移した一方、地金相場が軟調に推移したこと等から、仕入高は17,749百万円（前年同期比175百万円増、同1.0%増）となりました。

仕入高・買取店舗数の四半期推移につきましては以下のとおりであります。

[仕入高・買取店舗数]



※ 国内買取店舗数は協業店舗数を除く。

なお、「1. 経営成績等の概況 (1) 当期の経営成績の概況」の仕入高には自動車及び不動産の仕入高実績を含めておりません。

販売面においては、期首から潤沢な在庫を確保できていたことに加え、仕入が好調に推移したことにより、各販路における売上高が伸長いたしました。特に、前中期経営計画期間から実施してきた小売への投資の成果が表れ、小売売上高が好調に拡大したこと等により、当連結会計年度における売上高は106,656百万円（前期比21,815百万円増、同25.7%増）となりました。

自社オークションについては、小売へ積極的に商品振り向けを行ったものの、潤沢な期首在庫及び好調な仕入により出品量を確保できたことから、当連結会計年度における自社オークション売上高は34,029百万円（前期比380百万円増、同1.1%増）となりました。また、委託が好調に推移したことにより、自社オークション（委託落札額）GMVは27,638百万円（前期比6,743百万円増、同32.3%増）となりました。これに加え、オークション会員費及び参加費の寄与もあり、自社オークション手数料売上高は4,161百万円（前期比745百万円増、同21.8%増）となりました。

小売については、販売力の向上を背景に小売へ積極的に商品の振り向けを実施したことから、店舗、EC共に好調に推移いたしました。店舗においてはインバウンド需要が好調であったことに加え、LINEを活用した1to1施策等の奏功により国内顧客向け売上高も伸長いたしました。ECにおいては、シームレス出品の期間延長による掲載点数の増加に伴う売上拡大や、2025年11月に立ち上げた越境ECにおける販売が堅調に立ち上がったこと等により、EC売上高も拡大いたしました。これらの結果、当連結会計年度における小売売上高は25,884百万円（前期比8,369百万円増、同47.8%増）となりました。

卸売（地金）については、地金相場が好調に推移したことにより、当連結会計年度における卸売（地金）売上高は32,772百万円（前期比10,633百万円増、同48.0%増）となりました。

当第4四半期連結会計期間においては、2027年8月期に向けた計画的な在庫確保を行いつつ、第3四半期連結会計期間で確保した在庫を活用し、季節性や販売状況に応じた適切な販路で販売したことにより、売上高は26,700百万円（前年同期比4,958百万円増、同22.8%増）となりました。

自社オークションについては、小売へ積極的に商品振り向けを行いながら2027年8月期に向けた在庫確保も進めたものの、ブランド品仕入が好調に推移したことから、自社オークション売上高は8,879百万円（前年同期比30百万円増、同0.3%増）となりました。また、オークションプラットフォームとしての認知度向上により委託も引き続き好調に推移したことにより、自社オークション（委託落札額）GMVは7,659百万円（前年同期比1,814百万円増、同31.1%増）と過去最高を更新いたしました。これらの結果、自社オークション手数料売上高は1,189百万円（前年同期比231百万円増、同24.1%増）となりました。

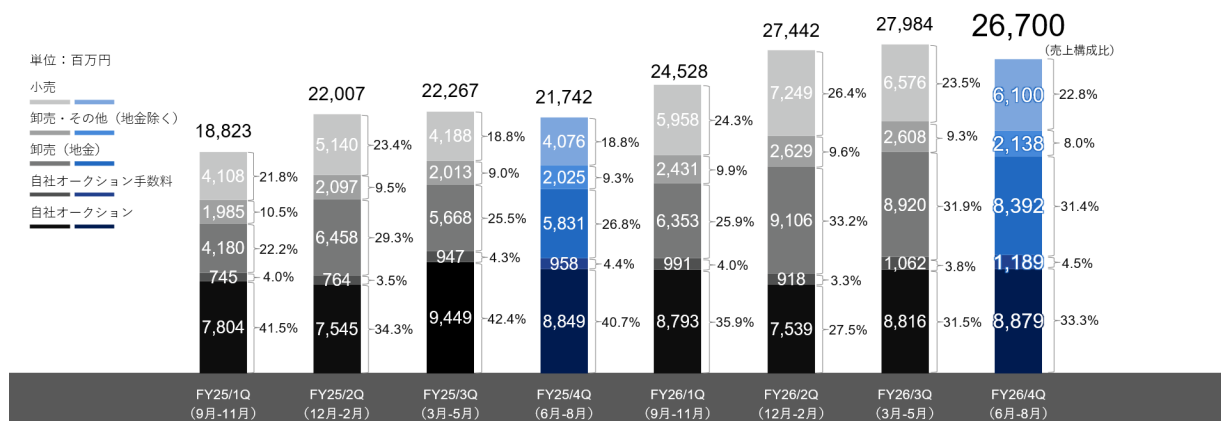
小売については、好調な小売の販売状況等を鑑み適切な販路選定を行った結果、小売売上高は6,100百万円（前年同期比2,023百万円増、同49.6%増）となりました。

一方、当第4四半期連結会計期間における地金仕入は減少したものの、第3四半期連結会計期間で確保した在庫の売却を進めた結果、卸売（地金）売上高は8,392百万円（前年同期比2,560百万円増、同43.9%増）となりました。

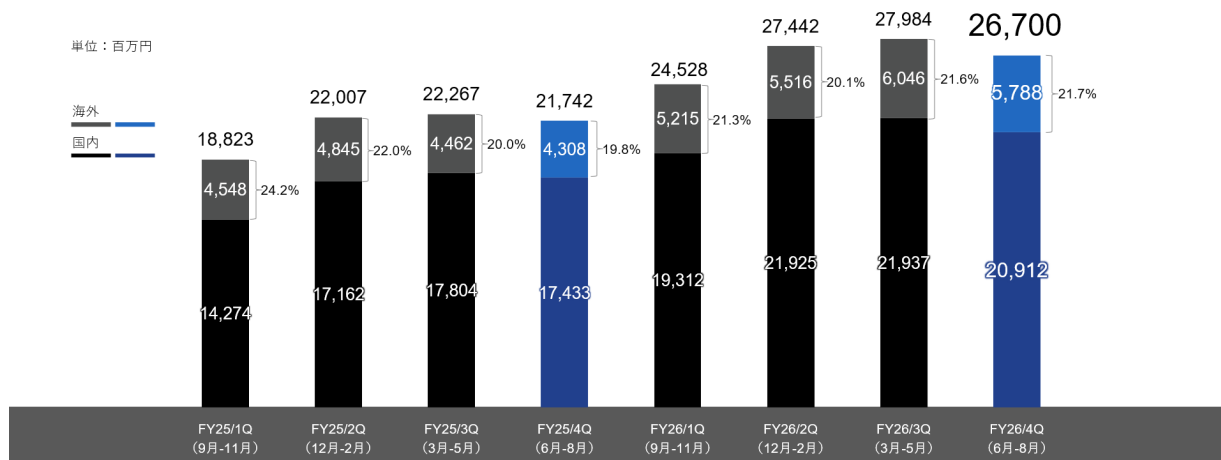
また、外国為替市場が円高傾向で推移したことからインバウンド顧客向けの小売売上高は堅調に推移いたしました。こうした中、海外のオークションパートナーの購買意欲は引き続き高かったこと等により当第4四半期連結会計期間の海外売上高は5,788百万円（前年同期比1,479百万円増、同34.3%増）、海外売上高比率は21.7%（前年同期比1.9ポイント増）となりました。なお、国内顧客向けの小売売上高や卸売（地金）売上高が伸長したこと等により当第4四半期連結会計期間の国内売上高は20,912百万円（前年同期比3,479百万円増、同20.0%増）となりました。

売上高（販路別）及び売上高（国内・海外）の四半期推移につきましては以下のとおりであります。

〔売上高（販路別）〕



〔売上高（国内・海外）〕



当連結会計年度においては、売上総利益率を重視した仕入を継続したことに加え、小売売上高比率が上昇したことやオークション手数料売上高の拡大が貢献したこと等により、売上総利益率は26.3%（前期比1.2ポイント増）となりました。なお、当第4四半期連結会計期間においては通期に係る販売促進費の一部を売上原価に振り替えたことにより、同会計期間における売上総利益率は24.6%（前年同期比0.1ポイント増）となりました。

当連結会計年度における販売費及び一般管理費は22,283百万円（前期比2,429百万円増、同12.2%増）となりました。これは、マーケティングをはじめとする効率を重視した事業運営を継続した一方、買取店舗の新規出店等に伴う積極的な人材採用や、社員への還元等を行ったことによる人件費の増加、テレビCMをはじめとした認知施策や「オリジナル・バーキン」を活用した集客施策の実施による広告宣伝費の増加等に加え、2027年8月期に向けた先行投資を行ったこと等によるものであります。

これらの結果、当連結会計年度における営業利益は5,780百万円（前期比4,326百万円増、同297.6%増）となりました。なお、当第4四半期連結会計期間においては、今後の事業拡大を見据えた積極的な人材採用の継続や認知拡大施策等の実施に加え、2027年8月期に向けた先行投資等を行ったことにより、営業利益は506百万円（前年同期比337百万円増、同200.0%増）となりました。

当社グループは「ブランド品、骨董・美術品等リユース事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べて5,997百万円増加し、26,040百万円となりました。この主な要因は、好調な仕入を背景に商品が3,529百万円増加したこと、営業活動及び財務活動による資金の獲得等により現金及び預金が1,922百万円増加したことに加え、小売売上の拡大に伴うクレジット債権の増加により売掛金が308百万円増加したこと等によるものであります。固定資産合計は、前連結会計年度末に比べて126百万円減少し、10,768百万円となりました。この主な要因は、買取店舗の新規出店や契約更新に伴う差入保証金の計上等により投資その他の資産が235百万円増加した一方、自動車事業に係る有形固定資産等について減損損失を311百万円計上したこと等によるものであります。これらの結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて5,870百万円増加し、36,808百万円となりました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べて4,436百万円増加し、17,358百万円となりました。この主な要因は、1年以内に弁済期日が到来する長期借入金の固定負債からの振替により1年内返済予定の長期借入金が6,764百万円増加したほか、未払法人税等が1,311百万円増加したこと等によるものであります。固定負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,434百万円減少し、8,906百万円となりました。この主な要因は、商品仕入に伴い新規で長期借入金を調達した一方、1年以内に弁済期日が到来する長期借入金の流動負債への振替等により長期借入金が1,329百万円減少したこと等によるものであります。これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて3,002百万円増加し、26,264百万円となりました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2,867百万円増加し、10,544百万円となりました。この主な要因は、譲渡制限付株式報酬としての新株発行に伴い資本金及び資本剰余金がそれぞれ83百万円増加したことに加え、親会社株主に帰属する当期純利益の計上等により利益剰余金が2,941百万円増加した一方で、2026年1月に自己株式を275百万円取得したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて1,923百万円増加し、7,227百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、2,467百万円の収入（前連結会計年度は555百万円の支出）となりました。これは税金等調整前当期純利益4,947百万円や減価償却費1,434百万円による資金の増加があった一方、棚卸資産の増加3,529百万円等による資金の減少があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、1,601百万円の支出（前連結会計年度は2,963百万円の支出）となりました。これは買取店舗の新規出店及び物流倉庫の増床に伴う有形固定資産の取得による支出648百万円や、オークションプラットフォームの機能強化及びグローバルEC基盤の構築を目的としたシステム開発に伴う無形固定資産の取得による支出665百万円があったことに加え、買取店舗の新規出店及び契約更新に係る差入保証金の差入による支出292百万円等の資金の減少があったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、1,009百万円の収入（前連結会計年度は1,913百万円の収入）となりました。これは主に、約定返済に伴う長期借入金の返済による支出1,164百万円のほか、新規の長期借入れに伴う短期借入金の返済により、短期借入金の減少額3,600百万円による資金の減少があった一方で、商品調達に伴う新規の長期借入れによる収入6,600百万円等の資金の増加があったためであります。

(4) 今後の見通し

当社グループは、2027年8月期を最終年度とする3か年の中期経営計画「To the Next Stage: For 2030 Revival Vision」を定め、収益性向上に向けた構造改革の実施と厳選投資の継続を基本方針に、自社オークションプラットフォームの機能拡充・強化に継続して取り組むとともに、国内においては小売拡大、海外においては仕入拡大を重点戦略として事業を推進しております。

本中期経営計画の最終年度となる2027年8月期は、収益性向上に資する構造改革を継続しながら、仕入拡大、toB・toCプラットフォーム強化、認知拡大施策等に係る投資を実施する方針であります。買取面においては国内外共に売上総利益率及び効率重視の仕入を引き続き行いつつ、新規出店を加速してまいります。オークションにおいては委託拡大や手数料収入の拡大、小売においてはプライシングの見直しを継続するとともに越境ECをはじめとする販売チャネルの強化を通じて収益性の向上に取り組む計画であります。

これらの計画のもと、直近の事業内容や外部環境を踏まえた、2027年8月期の通期連結業績予想は以下のとおりであります。

売上高	115,000百万円	(前期比	7.8%増)
営業利益	6,750百万円	(前期比	16.8%増)
経常利益	6,190百万円	(前期比	14.6%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	4,000百万円	(前期比	30.2%増)

なお、2027年8月期の業績予想の詳細につきましては、本日別途開示いたしました「2026年8月期 決算説明資料」をご参照ください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成しております。

なお、将来のIFRS（国際財務報告基準）適用につきましては、国内外の諸事情を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当連結会計年度 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,304,975	7,227,051
売掛金	1,097,094	1,405,719
商品	10,405,960	13,935,945
仕掛品	663	85,149
原材料及び貯蔵品	22,326	23,012
未収消費税等	1,920,525	1,987,403
その他	1,818,956	1,799,855
貸倒引当金	△526,968	△423,543
流動資産合計	20,043,532	26,040,592
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,677,891	5,422,295
減価償却累計額	△2,153,126	△2,429,101
建物及び構築物（純額）	3,524,765	2,993,194
工具、器具及び備品	2,471,792	2,719,862
減価償却累計額	△638,985	△704,779
工具、器具及び備品（純額）	1,832,806	2,015,082
リース資産	739,495	920,518
減価償却累計額	△464,863	△624,111
リース資産（純額）	274,632	296,407
土地	189,965	189,965
建設仮勘定	20,988	—
その他	51,718	49,336
減価償却累計額	△38,411	△49,336
その他（純額）	13,307	0
有形固定資産合計	5,856,466	5,494,649
無形固定資産		
ソフトウェア	1,605,785	1,614,240
その他	186,136	177,243
無形固定資産合計	1,791,921	1,791,483
投資その他の資産		
投資有価証券	0	—
関係会社株式	200,028	121,641
差入保証金	2,047,341	2,262,291
繰延税金資産	968,292	1,073,380
その他	30,784	25,319
貸倒引当金	△20	△387
投資その他の資産合計	3,246,427	3,482,245
固定資産合計	10,894,815	10,768,379
資産合計	30,938,347	36,808,972

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当連結会計年度 (2026年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	394,651	457,783
短期借入金	8,300,000	4,700,000
1年内償還予定の社債	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	523,180	7,287,480
リース債務	175,315	135,167
未払法人税等	417,399	1,729,373
賞与引当金	489,508	614,753
資産除去債務	91,582	20,979
その他	2,329,987	2,213,050
流動負債合計	12,921,623	17,358,588
固定負債		
社債	300,000	100,000
長期借入金	8,889,973	7,560,870
リース債務	114,048	164,714
資産除去債務	1,036,442	1,080,781
固定負債合計	10,340,464	8,906,366
負債合計	23,262,088	26,264,954
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,373,285	1,457,279
資本剰余金	1,579,303	1,663,115
利益剰余金	4,916,381	7,858,232
自己株式	△668,489	△944,344
株主資本合計	7,200,481	10,034,282
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	160,922	229,466
その他の包括利益累計額合計	160,922	229,466
新株予約権	314,856	280,268
純資産合計	7,676,259	10,544,018
負債純資産合計	30,938,347	36,808,972

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
売上高	84,841,115	106,656,294
売上原価	63,532,312	78,591,768
売上総利益	21,308,802	28,064,526
販売費及び一般管理費	19,854,847	22,283,949
営業利益	1,453,954	5,780,576
営業外収益		
受取利息	7,619	12,651
還付加算金	1,177	6,345
貸倒引当金戻入額	—	10,363
持分法による投資利益	22,253	—
為替差益	8,774	—
助成金収入	1,201	10,340
その他	28,116	16,369
営業外収益合計	69,143	56,071
営業外費用		
支払利息	188,555	292,952
為替差損	—	11,338
和解金	—	18,595
持分法による投資損失	—	78,387
その他	19,007	35,923
営業外費用合計	207,563	437,198
経常利益	1,315,534	5,399,449
特別利益		
新株予約権戻入益	26,722	43,155
特別利益合計	26,722	43,155
特別損失		
減損損失	103,060	494,613
固定資産除却損	119,948	—
特別損失合計	223,008	494,613
税金等調整前当期純利益	1,119,249	4,947,991
法人税、住民税及び事業税	559,737	1,975,377
法人税等調整額	△122,430	△100,732
法人税等合計	437,306	1,874,644
当期純利益	681,942	3,073,346
親会社株主に帰属する当期純利益	681,942	3,073,346

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
当期純利益	681,942	3,073,346
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△6,419	68,544
その他の包括利益合計	△6,419	68,544
包括利益	675,523	3,141,891
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	675,523	3,141,891

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の 包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,295,404	1,501,423	4,234,439	△668,488	6,362,779	167,341	167,341	325,823	6,855,943
当期変動額									
新株の発行	77,880	77,880			155,760		—		155,760
剰余金の配当			—		—		—		—
親会社株主に帰属 する当期純利益			681,942		681,942		—		681,942
自己株式の取得				△0	△0		—		△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—	△6,419	△6,419	△10,967	△17,386
当期変動額合計	77,880	77,880	681,942	△0	837,702	△6,419	△6,419	△10,967	820,315
当期末残高	1,373,285	1,579,303	4,916,381	△668,489	7,200,481	160,922	160,922	314,856	7,676,259

当連結会計年度(自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の 包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,373,285	1,579,303	4,916,381	△668,489	7,200,481	160,922	160,922	314,856	7,676,259
当期変動額									
新株の発行	83,994	83,812			167,806		—		167,806
剰余金の配当			△131,495		△131,495		—		△131,495
親会社株主に帰属 する当期純利益			3,073,346		3,073,346		—		3,073,346
自己株式の取得				△275,855	△275,855		—		△275,855
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—	68,544	68,544	△34,587	33,957
当期変動額合計	83,994	83,812	2,941,850	△275,855	2,833,801	68,544	68,544	△34,587	2,867,758
当期末残高	1,457,279	1,663,115	7,858,232	△944,344	10,034,282	229,466	229,466	280,268	10,544,018

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,119,249	4,947,991
減価償却費	1,440,301	1,434,691
株式報酬費用	163,721	168,891
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△72,103	△104,233
賞与引当金の増減額(△は減少)	153,881	119,805
受取利息及び受取配当金	△7,619	△12,651
支払利息	188,555	292,952
持分法による投資損益(△は益)	△22,253	78,387
助成金収入	△1,201	△10,340
新株予約権戻入益	△26,722	△43,155
減損損失	103,060	494,613
固定資産除却損	119,948	—
売上債権の増減額(△は増加)	△362,922	△308,625
棚卸資産の増減額(△は増加)	△3,274,295	△3,529,984
仕入債務の増減額(△は減少)	27,667	63,132
未払法人税等の増減額(△は減少)	51,076	△30,546
未払又は未収消費税等の増減額	△176,087	△124,258
その他	372,061	△91,576
小計	△203,684	3,345,093
利息及び配当金の受取額	6,621	10,740
利息の支払額	△187,674	△288,053
助成金の受取額	1,291	10,340
法人税等の支払額	△353,222	△644,724
法人税等の還付額	181,080	34,204
営業活動によるキャッシュ・フロー	△555,586	2,467,601
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,170,280	△648,677
無形固定資産の取得による支出	△656,162	△665,233
資産除去債務の履行による支出	△16,489	△79,033
差入保証金の差入による支出	△163,515	△292,838
差入保証金の回収による収入	43,114	82,882
定期預金の払戻による収入	—	1,508
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,963,333	△1,601,392
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	1,500,000	△3,600,000
長期借入れによる収入	1,400,000	6,600,000
長期借入金の返済による支出	△559,580	△1,164,803
社債の償還による支出	△200,000	△200,000
株式の発行による収入	1,174	2,095
自己株式の取得による支出	△0	△275,855
配当金の支払額	△29	△131,394
その他	△228,561	△220,593
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,913,001	1,009,448
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,987	47,926
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,611,905	1,923,584
現金及び現金同等物の期首残高	6,915,372	5,303,467
現金及び現金同等物の期末残高	5,303,467	7,227,051

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、「営業外収益」の「その他」に含めておりました「還付加算金」は営業外収益の総額の100分の10を超えたため、当連結会計年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結損益計算書において「営業外収益」の「その他」に表示していた29,294千円は、「還付加算金」1,177千円、「その他」28,116千円として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、「ブランド品、骨董・美術品等リユース事業」のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2024年9月1日 至 2025年8月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品、サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	米国	中国	その他	合計
73,671,038	3,854,833	2,585,896	4,729,347	84,841,115

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	欧州	中国	その他	合計
4,010,982	1,616,108	100,826	128,548	5,856,466

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
日本マテリアル株式会社	11,670,293	ブランド品、骨董・美術品等リユース事業
株式会社ネットジャパン	8,903,320	ブランド品、骨董・美術品等リユース事業

当連結会計年度（自 2025年9月1日 至 2026年8月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品、サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	米国	中国	その他	合計
95,364,163	3,235,697	2,731,281	5,325,152	106,656,294

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
日本マテリアル株式会社	14,306,759	ブランド品、骨董・美術品等リユース事業
株式会社ネットジャパン	11,468,174	ブランド品、骨董・美術品等リユース事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年9月1日 至 2025年8月31日）

当社グループは、「ブランド品、骨董・美術品等リユース事業」の単一セグメントであり、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2025年9月1日 至 2026年8月31日）

当社グループは、「ブランド品、骨董・美術品等リユース事業」の単一セグメントであり、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年9月1日 至 2025年8月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2025年9月1日 至 2026年8月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年9月1日 至 2025年8月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2025年9月1日 至 2026年8月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
1株当たり純資産額	559円82銭	778円62銭
1株当たり当期純利益	52円00銭	233円15銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	51円81銭	231円87銭

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	681,942	3,073,346
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	681,942	3,073,346
普通株式の期中平均株式数(株)	13,112,342	13,181,495
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	48,438	72,627
(うち新株予約権)(株)	48,438	72,627
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	第4回新株予約権 新株予約権の数878個 (普通株式87,800株) 第5回新株予約権 新株予約権の数305個 (普通株式30,500株) 第6回新株予約権 新株予約権の数340個 (普通株式34,000株) 第7回新株予約権 新株予約権の数250個 (普通株式25,000株)	第4回新株予約権 新株予約権の数867個 (普通株式86,700株) 第5回新株予約権 新株予約権の数245個 (普通株式24,500株) 第6回新株予約権 新株予約権の数100個 (普通株式10,000株)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。